

輸液ポンプ定期点検マニュアル

臨床工学部 平成 20 年 3 月

点検間隔:6 ヶ月に一回

【外観点検】

外観に著しく汚れ・キズ・変形などがないこと。
0.05%ヒビテン液で清拭する。

【性能点検】

・流量点検

流量 120ml/h、20～30 分間行い、実測値で $120 \pm 12\text{ml/h}$ の範囲内であること。

・閉塞圧試験

閉塞感知モードは H であることを確認し、60～140kPa の範囲内であること。

・気泡検出試験

約 10mm の気泡を送り気泡警報が発生すること。

【電気の安全性点検】

・外装漏れ電流

正常状態で($100\mu\text{A}$ 以下)、単一故障状態で($500\mu\text{A}$ 以下)

外装は金属の露出した部分で測定する。(ネジ部またはナースコールの端子)

・接地漏れ電流

正常状態で($500\mu\text{A}$ 以下)、単一故障状態で($1000\mu\text{A}$ 以下)

シリンジポンプ定期点検マニュアル

臨床工学部 平成 20 年 3 月

点検間隔:6 ヶ月に一回

【外観点検】

外観に著しく汚れ・キズ・変形などがないこと。

0.05%ヒビテン液で清拭する。

【性能点検】

・流量点検

50cc シリンジを用い流量 70ml/h、20～30 分間行い実測値が $70.0 \pm 3.5 \text{ ml/h}$ の範囲内であること。

・閉塞圧試験

閉塞感知モードは M であることを確認し、 $56.6 \pm 13.3 \text{ kPa}$ の範囲内であること。

・シリンジ検出試験

治具を用い 10、20、30、50ml のシリンジが検出できること。

【電気的安全性点検】

・外装漏れ電流

正常状態で($100 \mu \text{A}$ 以下)、单一故障状態で($500 \mu \text{A}$ 以下)

外装は金属の露出した部分で測定する。(ネジ部またはナースコールの端子)

・接地漏れ電流

正常状態で($500 \mu \text{A}$ 以下)、单一故障状態で($1000 \mu \text{A}$ 以下)